

# 青山流儀

——せいざんりゅうぎ——

「人間 到る処 青山あり」という格言があります。人がひとたび大きな志を立てたのなら、速く故郷を離れたとしても、目的を達成するまでは戻らないという強い信念を持つべきだと説いた、生き方のヒントになる名言のひとつ。幕末の僧・月性<sup>げいせい</sup>が詠んだ詩の節から引用されたものです。勤王立志の詩とも呼ばれ、時代を突き動かそうとした維新の志士たちから、大いに愛されたと伝えられています。

現在は人生至るところ「青山あり」というように、少し広い意味に解釈されていますが、それでも、自分の可能性を生かせる道はいくらでもあるのだから、そこに我が身を投げ出す気概を持って、深く、深く教えるに変わりはありません。

この「青山」に向かってゆく気高い志こそ、わたしたちが考える「流儀」そのもの。言い換えるなら、生き方の流儀。とても表現すべきでしょうか。

人が生きてゆく道にルールはなく、暮らした空間をうくり出す器にもルールはありません。

このことから私は、人も、生き方も、住まいますべて

「青山」からなる流儀であると考えています。建築家として、人生をもっとも細かに表現できる場が家であるということ、信念にしています。

すなわち家を建てることは、その人の人生を建てることと同じだと考えています。

Photo: KAZUHIRO ISHIDE

だからこそ、お客様の家づくりに全神経を集中させ、自分たちの美意識をすべて注ぎ込み、何十年経ても色褪せない本物の住まいづくりにこだわってきました。

そうして完成した「棟」が、お客様の喜びや愛着につながる、人生のゆたかさや幸福感へと結びついてきたと信じております。

私は人を幸せにする人が幸せになるという決意を社是に込めました。これはまさに家づくりを通して得た「生き方の流儀」そのものです。

「青山流儀」と名づけたこの冊子が、多くの人の共感を得られることを祈りながら、創刊の運びとさせていただきます。

## 石出 和博 いしで かずひろ

建築家、一級建築士事務所アトリエアム株式会社代表取締役所長、HOPグループ代表CEO。

1946年北海道芦別市生まれ。1973年藤田工務店入社現代表。1984年一級建築士事務所アトリエアム設立。気鋭の建築家集団を率いて全国で作品を発表。1996年、林野庁と北海道の支援を受け、国産材の確保から製材、設計、建築までを協業化した新しい住宅供給システムHOP(ハウジングオペレーション)を設立、育て上げた。

主な受賞 / 1997年グッドデザイン北海道、2000年北洋インベストメントアントレプレナー大賞、2000年北の企業家奨励賞、2001年林野庁長官賞、2006年経済産業大臣賞(消費者志向優良企業)など多数。  
著書 / フォトエッセイ集「ころ紀行」(1999年刊)、家を建てる前に読む本「ハウスクォーター診察室」(2005年刊)、石出和博とアトリエアムの世界(2008年刊 / ART BOX社)がある。